

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	旭の滝景観形成事業
事業主体 (連絡先)	木曾町日義支所 産業振興係 (0264-26-2301)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ハード
総事業費	741,071 円 (うち支援金 : 555,000 円)

事業内容

○南宮神社境内にある旭の滝は、農業用水として地元住民に利用されているが、近年では、観光資源として観光客の来訪や問い合わせが増えている。しかし、国道19号線沿いにはあるものの見えにくいところにあるため、国道沿いに案内看板を設置し、旭の滝のPRを図った。案内看板の制作は地元の画家に依頼し、設置は、住民協働により行った。



【新設したPR看板】

○既存の農業用水路が露出しており、落石や倒木等で破損することがあるため、原材料を支給し、住民協働により既存パイプを破損しにくいトヨドレンダブル管に取替えるともに敷設することで、農業用水路・疎水の確保を図った。

【目標・ねらい】

- ①旭の滝のPR
- ②観光客の増加
- ③農業用水路の整備

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①国道沿いに案内看板を設置したことで、観光客に対して旭の滝の場所を明確にし、PRすることができた。また、本事業を広報誌にて紹介することで、旭の滝を知らない地元住民への周知も同時に図ることができた。
- ②新型コロナウイルスの影響により、町全体で観光客が減少してしましたが、来年度以降の観光客増加の足がかりとすることができた。
- ③既存の水路のパイプを破損しにくいトヨドレンダブル管に取り替えたことにより、以前よりも耐久性が増し、農業用水路・疎水として安定した水の確保を図ることができた。

※自己評価【 C 】

【理由】

KPIとして、視察者・イベント参加者数等を設定したが、新型コロナウイルスの影響で視察やイベントが全て中止となり、今年度の実績としては0名となってしまった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○今後、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく「歩ける木曾路再生プロジェクト」観光施設の整備を行うことで、中山道からの観光客の動線確立し、今回実施した事業との相乗効果により観光客の増加を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある